

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「みんなに伝えたい  
からだところがおとなになるということ」
- 2 対象 6年生
- 3 専門医 太田 信彦 医師  
(ゆめクリニック)
- 4 実施月 11月
- 5 内容(キーワード)  
男女の心や体の発達とその違い  
命の誕生  
性の多様性



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*思春期の身体の変化や成長を自分毎として感じ、人と自分を比較しがちな頃となった今の時期に、心の成長や感じ方は人によって違うことや命の誕生は奇跡的なことであること、ジェンダーも含めみんな一人ひとり違っていいこと、互いがとても大切な存在であることなどをお話しいただいた。人と比べる必要はないことや、自分や人の命の大切さや尊さを考える良い機会となった。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*昨年度、校内における性に関する指導の基本的な考え方、全体計画、学年の指導のねらいや項目を見直した。外部講師を招いて指導いただく学年、項目を位置づけ継続して系統的に学ぶことができるように推進する機会となった。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*市内小中学校で多く講演されている先生にお願いできた。事前打ち合わせをしていただき、本校児童の実態や指導のねらい等を担任と確認したうえでお話しいただいた。医師(産婦人科医)の立場ならではの講話をお聞きすることができた。

〔教科やその他の指導との関連性〕

○保健や理科の学習内容につながる内容であった。

〔受講者の感想など〕

- 女子と男子の違い、心の違いを知ることができた。
- みんな同じではないので、比べない方がいいと思った。
- 耳や目、足など不自由な人はたくさんいます。でも、その人たちにも、きっとその人だけのいいところがあります。
- 「あなたたちがここに生まれてきたことは奇跡なのです」の言葉が心に残った。

